

4月19日（火）に本校3年生103名を対象に実施された「全国学力調査」について、結果がまとまりました。本調査は、国語と数学の2教科のテストと同時に、家庭の過ごし方や学習時間を問う調査も実施されており、生活習慣と学力の関係など、本校の子どもたちの状況をお伝えします。

総合結果(国語・数学)

総合的に見ると、国語Aおよび数学A、Bでは、全国平均をやや下回る結果となりましたが、国語Bでは、全国平均を大きく上回る結果となりました。昨年度の結果と比べてみると、国語Bだけではなく、数学においてもA、Bともに昨年を上回る結果となりました。特に、国語、数学のB問題での結果が好調でした。全国調査だけではなく、学習確認プログラムにおいても、時間いっぱい取り組む姿勢が好結果につながりつつあります。

国語科より

◆国語A（主として知識）

「話す・聞く」「言語についての知識・理解」で少し気になるところがあります。

- ・「話す・聞く」の観点では、スピーチ等を行う場合に「聞き手の想定が不十分であること」が明らかになりました。ポスターセッションなどでのスピーチの機会を利用し、聞き手の立場や考えを予想しながら話を組み立て、スピーチしてほしいです。
- ・「言語についての知識・理解」では、語彙量の不足が考えられます。普段から読書に親しむと同時に、意味が分からない言葉については、辞書を引き理解することが大切です。

◆国語B（主として活用）

国語Bでは、「書く」「読む」の観点ともに平均を上回りました。「読む」の観点では、文章の中心的な部分と付加的な部分とを読み分け、要旨を捉える問題、また「書く」の観点では、課題を決め、それに応じた情報の収集方法を考える問いについてはよくできていました。

ただ、文章を読み、さらに関連する資料を参考に根拠を明確にして自分の考えを書くという問いについては、無回答率の高く平均を下回りました。読み取り、資料の活用、さらに、根拠を明らかにして自分の考えを書く、といった複数の要素が必要とされるものは、十分に力がついているとは言えない状況です。授業で取り組んでいるワークシート等を利用し、新聞などから題材をとり、資料や情報を的確に捉え、根拠を明らかにして自分の考えを構築する力をつけていく努力を続けてほしいです。

数学科より

◆数学A（主として知識）

数学Aでは、正答率が全国平均に対して、少し平均を下回る結果となりました。また、結果からどちらかと言えば正答率が高いものと、正答率が低いものの二極化が全国よりも顕著になっていることがわかります。

- ・「数と式」の領域では、数学的な知識・理解については、十分力がついていると考えますが、文章から式を立てるといった技能に関しては、まだ十分に力がついているとは考えにくいことがわかりました。
- ・「資料の活用」の領域では、数学的な知識・理解については、全国平均を上回り力はついていると考えますが、確率の意味が理解されておらず、その技能についても十分な力がついていませんでした。

◆数学B（主として活用）

数学Bでは、正答率が全国平均とほぼ変わらない結果となりました。各設問の無回答率も全国平均よりも低く、昨年より課題にされていた部分が少しずつ改善されているのではと考えられます。しかし、「数と式」の領域で全国平均と差があり、課題があることがわかりました。「与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、数量の関係を数学的に表現することや、適切な事柄を判断し、その事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明すること」が十分にできていませんでした。文章の中から式を立てることや、情報を抜き出す部分で、数学Aと同様の結果となりました。

◆課題の改善策

単純な計算問題に対しては、しっかりと練習を積み正確に解ける生徒が増えている中、文章の中から式を立てる力が充分についていないので、教科書を読み、数学の文章に慣れる必要があります。繰り返し練習することはそのまま継続して行い、解き方を身に着けるのではなく、なぜそのような解き方になるのかという「解く過程」を考え学習を進める癖を身に着けていきましょう。

生徒質問紙調査より

- 「何時ごろ寝ますか？」の質問では、「午前0時以降」と答えた生徒が33%もいます。さらに、「朝食を毎日食べますか？」では食べない生徒が7.8%（全国1.8%）もいます。学習の始まりは朝起きたときから、とも言われます。「早な早起き朝ごはん」の生活習慣を身に着けてほしいものです。
- 「1日あたりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり聞いたりしますか？」の質問には「4時間以上」が18.4%と全国平均より7.7%も高くなっています。同時に「1日あたりどれくらいの時間、コンピュータや携帯式のゲーム、スマートフォンでのゲームをしますか？」の質問に「4時間以上」が16.5%と全国平均より6.8%高くなっています。また、「1日あたりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか？」の質問に、「4時間以上」と回答した生徒が18.4%（全国8.6%）と9.8%高くなっています。テレビの視聴やゲーム、スマートフォンの使用時間が大変長いという結果が出ています。健康面や学習への影響を考えると生活の改善が望まれるところです。
- 「学校の授業以外に普段、1日あたりどれくらいの時間勉強しますか？」の質問では、「3時間以上する」という生徒が全国平均を上回っているものの、「30分以下または全くしない」が、27.2%であり、全国平均を大きく上回っています。ただし、この調査は4月の時点での調査ですので、進路選択を控えた現在の状況とは異なると考えます。

全体を通して

本校では「総合的な学習の時間」でポスターセッションに取り組むことにより、自ら課題を立てて情報を集め整理をし、調べたことを発表する力を育む取組を行っています。それは、「総合的な学習の時間」だけにとどまらず、教科の授業でも生かされています。例えば「1・2年生で受けた授業では、課題・解決・情報・発表の学習活動に取り組んでいたと思いますか？」という質問に対して、「そう思う」と答えた生徒が全国平均よりも大きく上回っていることから伺えます。そしてその結果が、国語Bに現れてきたといえるのではないかと考えます。

しかし、一方で、予習・復習をあまりしていない、家で計画的に勉強していないなどの課題が残ります。学力は学校・家庭・地域での地道な積み重ねによって定着していきます。今後とも子どもたちの健やかな育ちと学びの環境づくりにご協力をお願いします。